



人 材 育 成 目 標 (学科)
空間演出デザイン学科では、これからの社会に何が必要かを問うことを前提としながら、多様な人々が生き生きとくらせる創造的な社会を築き上げていくために、社会における課題に真摯に対峙し、デザインを通じて解決すること、さらにはそのことによって新たな社会的価値の創出を実践することに積極的に取り組もうとする人材を育成する。

創造力				人間力		
世界を深く観察し、未知のものへと挑んで行くことを通じて、新たなもの、ことを発見することができる。そういった力を応用し、社会の潜在的な課題を見いだし積極的に取り組むことができる。	現実のものごとを深く調査・分析し、そこから多様な意味のある関係性を構築することができる。また、既存の意味を疑い、これまではあり得なかった関係性や価値をつくりあげることができる。課題と解決の双方に、新たな視点で取り組むことができる。	概念を生成していく過程において見出せる独自のことはやイメージをもって現実のかたちとしていくのかたちにむすびつけることができる。また、社会的な条件のもとで新たな意味をもつ計画をたて、現実化することができる。	他者に伝えるために、発見した価値や関係性をことばとイメージをもって現実のかたちとしていくことができる。また、課題に対する解決策として、より魅力的なかたちを提示することができる。	デザインを提案するだけでなく、自らの意志を持って、動くことができ、社会の課題を解決へと向けていくために提案を発信し実践することができる。	積み上げていくことによって、より大きな目標に到達できることを自覚し、向上心を持って課題を続けていくことができる。	他者を知り、また自己を知りながら、ものごとを的確に理解しかつ伝え、世界を広げていくことができる。また、さまざまな人と相互に協調し、社会の中で関係を構築することができる。

	科目名	授業 種別	履修学年・学期					単位		テーマ	授業概要	到達目標	探究力		思考力		発想・構想力		表現力		行動力		継続力		コミュニケーション力
			1	2	3	4	前期	必修	選択				0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100		
空間系	空間基礎Ⅰ	講義	1	2	3	4	前期	2		図学	空間デザインに必要な図学を学ぶ。	図学の図法と考え方を習得し、デザインの思考・表現に生かすことができる	0	30	60	20	40	20	40	0	30	60	0		
	空間基礎Ⅱ	講義		2	3	4	前期		2	図学・CAD基礎	空間デザインに必要なアプリケーションを学ぶ。基礎編。	アプリケーションのスキルと考え方を習得し、デザインの思考・表現に生かすことができる	0	30	60	20	40	20	40	0	30	60	0		
	空間基礎Ⅲ	講義		2	3	4	後期		2	図学・CAD応用 (住居計画)	空間デザインに必要なアプリケーションを学ぶ。応用編。	アプリケーションのスキルと考え方を習得し、デザインの思考・表現に生かすことができる。	0	30	60	20	40	20	40	0	30	60	0		
	空間デザイン基礎Ⅰ	演習	1	2	3	4	前期	2		空間デザインの導入	空間デザインとは何かを考え学ぶ。空間の成り立ちを知り、空間設計の基礎を学ぶ。	自らの発想や思考を基礎的な空間設計によって、他者に向けて表現できるようになる。	30	60	20	40	0	20	40	0	30	60	0		
	空間デザイン基礎Ⅱ	演習	1	2	3	4	後期	2		空間設計基礎	空間設計に必要なスキルと考え方を学び、基礎的な制作を行う。	空間設計の基礎的なスキル・考え方・表現を習得し、自らの作品に展開できるようになる。	0	30	60	20	40	20	40	0	30	60	0		
	空間デザイン基礎Ⅲ	演習	1	2	3	4	後期	2		ディスプレイデザイン基礎	空間デザインにおける実空間の制作を基礎的に学ぶ。 (ディスプレイ・エキシビション)	空間デザインの実空間分野のスキル・考え方・表現を基礎的に習得し、他者に向けて表現できるようになる。	0	0	30	60	20	40	30	60	0	20	40		
	空間デザイン基礎Ⅳ	演習		2	3	4	前期	2		空間設計実践	空間設計領域の修得を目的に、実践的課題を多角的に行う。	空間設計に必要な多角的スキル・考え方を習得し、独自の提案・表現ができるようになる。	0	30	60	30	60	20	40	0	0	20	40		
	空間デザイン基礎Ⅴ	演習		2	3	4	後期	2		空間設計総合(進級制作)	空間設計領域の到達として、人・モノ・空間を総合的に捉えた進級制作を行う。	空間設計の基礎的な能力を十分に習得し、独自のコンセプトで進級に値する作品を制作することができる。	0	30	60	30	60	20	40	0	0	20	40		
	空間造形基礎Ⅰ	演習		2	3	4	前期	2		スペース表現・技法基礎1	スペース系表現技法とその制作を学ぶ。(木工家具・雑貨・ライティング)	空間表現のスキルと概念を習得し、デザイン・実制作に展開することができる。	0	30	60	20	40	20	40	0	30	60	0		
	空間演習Ⅰ	講義			3	4	前期	2		空間デザイン上級講座(空間系 プランナー)	設計・デザインはすでに修得していることを前提に、「何のためにつくるのか」を重視して、サービスデザインの手法を用いたりリサーチから、空間デザインの提案を習得する。企業の求めるプランナー・ディレクターとしての実力要請。	社会の課題を踏まえ、サービスデザインの理論と手法を理解し、それを応用して「目的」とそれが落とし込まれた「空間」をプランナーとして提案できるようになる。	30	60	20	40	0	0	30	60	20	40	0	20	40
空間デザイン演習Ⅰ	演習			3	4	前期	2		ソーシャルデザイン(学科展)	社会の課題・解決における解決の提案法に重心を置く枠組みは変わらないが、ソーシャルデザインの意味を更新し、現代社会の生産方式等に対するオルタナティブを指針とする。	社会の課題を踏まえながら、空間デザインの応用領域を修得し、解決に取り組むデザインを展開することができる。	0	0	30	60	30	60	20	40	0	20	40			
クリエイション系	デザイン表現基礎	演習	1	2	3	4	後期	2		芸術・デザイン表現の基礎	スケッチ・ドローイングなど芸術基礎から発想を柔軟にするアートワークの制作を学ぶ。	芸術の基礎的スキルを習得し、発想や視点を柔軟にして作品をつくることができる。	20	40	0	40	80	30	60	0	10	20	0		
	コンピュータ基礎演習	演習	1	2	3	4	後期	2		ビジュアル・アプリケーション	デザインアプリケーションとしてイラストレータ・フォトショップの技術と表現手法を学ぶ。	アプリケーションのスキルと概念を習得し、デザインの思考・表現に生かすことができる。	0	40	80	20	40	20	40	0	20	40	0		
	空間造形基礎Ⅱ	演習		2	3	4	前期	2		スペース表現・技法基礎2	スペース系表現技法とその制作を学ぶ。(木工家具・雑貨・ライティング)	空間表現のスキルと概念を習得し、デザイン・実制作に展開することができる。	0	30	60	20	40	20	40	0	30	60	0		
	空間表現演習Ⅰ	演習		2	3	4	後期	2		ビジュアルプレゼンテーション基礎1	プレゼンテーションに必要なとなるビジュアル系表現技法とその制作を学ぶ。(写真・シルク・ブックデザイン)	ビジュアル表現のスキルと概念を習得し、プレゼンテーションデザインに展開することができる。	30	60	0	30	60	20	40	0	20	40	0		
	空間表現演習Ⅱ	演習		2	3	4	後期	2		ビジュアルプレゼンテーション基礎2	プレゼンテーションに必要なとなるビジュアル系表現技法とその制作を学ぶ。(写真・シルク・ブックデザイン)	ビジュアル表現のスキルと概念を習得し、プレゼンテーションデザインに展開することができる。	30	60	0	30	60	20	40	0	20	40	0		
	空間デザイン演習Ⅲ	演習			3	4	前期	2		ソーシャルデザイン(コンセプト チュアル・社会発信)	空間デザインの応用領域としてコンセプチュアルデザインを修得し、それをトリルプレスという手法で社会発信する。	空間のデザインへの応用や可能性を探索しつつ、社会の課題を踏まえたデザインを実践し、それを社会に向けて発信することができる。	0	0	30	60	30	60	20	40	0	20	40		
総合系	空間演出デザイン基礎Ⅰ	演習	1	2	3	4	前期	2		ソーシャルデザイン基礎1	身近な事例から社会へとつながる課題を発見し、独自のプレゼンテーションとして制作する。グループワーク。	社会の課題を理解し、それに対する取り組みを、グループでの話し合いを通じて自ら提案することができる。	0	0	20	40	20	40	30	60	0	30	60		
	空間演出デザイン基礎Ⅱ	演習		2	3	4	前期	2		ソーシャルデザイン基礎2	地域をフィールドワークし、課題となる事例の解決をデザインする。グループワーク。	地域の課題を理解し、それに対する取り組みをグループでの話し合いを通じて、自ら提案・実践することができる。	0	20	40	0	20	40	30	60	0	30	60		
	空間演出デザイン論Ⅲ	講義			3	4	前期	2		SD社会演習 (マネジメント系科目)	デザインとビジネスを結びデザインマネジメントの観点から必要となる、マーケティングや商品企画に関わる理論や実例を学ぶ。その他、チーム論や知財リテラシーなども合わせてマネジメントに必要な知識や考え方を手獲得するための授業とする。	デザインとビジネスを結びデザインマネジメントにおけるマーケティングなどの理論を理解し自らの考えを論じられるようになる。	30	60	30	60	0	0	30	60	10	20	0		
	総合デザイン演習	演習			3	4	夏期 集中	2		ソーシャルデザイン総合研究	フィールドの探究や人と文化の歴史や関係を学びつつ、社会の課題の発見と、新たな解決のデザイン提案に取り組む。	フィールドの探究と人と文化の学びを生かすことで、発見した課題に対して新しい解決のあり方を提案することができる。	30	60	30	60	0	0	20	40	0	20	40		
	空間演出デザインⅡ	演習			3	4	後期	2		ソーシャルデザイン応用(社会実 践+デザインリサーチ)	インクルーシブデザインをベースに、デザインリサーチを加えて実践。リサーチに基づくアウトプットも制作し、art space co-jin(京都市)等で成果展を実施。	社会の課題を踏まえながら、修得したデザインリサーチからインクルーシブデザインのアウトプットができるようになる。それを社会に向けて発信できるようになる。	20	40	0	0	0	20	40	30	60	0	30	60	
	空間デザイン演習Ⅱ	演習			3	4	後期	2		ソーシャルデザイン応用	社会の課題を深く探究するために、リサーチ手法としてエスノグラフィや歴史リサーチを学び、独自のテーマでドキュメンタリーを制作する。	社会の課題を理解し、自分なりのテーマをもってリサーチを展開し、ドキュメンタリー制作をすることができる。	0	0	30	60	30	60	20	40	0	20	40		
	空間デザイン演習Ⅳ	演習			3	4	後期	2		アドヴァンスドデザイン(研究と プレゼンテーション)	フロンティアのデザインをベースとしながら、社会における課題を自分の視点で解読し、アクティビティや制作の提案に結びつける。社会での実践を重視。	社会の課題を踏まえながら、自らのテーマを発見し、アクティビティや制作の実践を行う。独自の研究としてプロセスを組み立てプレゼンテーションすることができる。	30	60	30	60	0	0	20	40	0	20	40		
	空間デザイン演習Ⅴ	演習			3	4	後期	2		ソーシャルデザイン応用(ブラン ディング)	商品や企業にとどまらず、現在では地域そのものや公益の活動までブランド概念で、価値を形成していく。この授業では、リサーチ・マーケティング・商品開発など一連のシステムとしてのスキルを修得しながら、ブランディングデザインの実践を学ぶ。	ブランディングデザインの知識と手法を修得し、企業の課題を自分で発見・分析して解決のデザインを制作・提案することができる。	30	60	30	60	0	0	20	40	0	20	40		
	空間演出デザイン基礎Ⅲ-①/②	演習		2	3	4	後期	2			①ジュエリー分野におけるデザインとそれを発信する企画を学ぶ。 対外的発表を行う。 ②エキシビション分野におけるデザインとそれを発信する企画を学ぶ。 対外的発表を行う	①ジュエリー分野におけるデザイン・企画を習得し、コラボレーションを通じて成果を対外的に発表できる。 ②エキシビション分野におけるデザイン・企画を習得し、コラボレーションを通じて成果を対外的に発表できる。	0	0	20	40	30	60	30	60	0	20	40		
	空間演出デザインⅠ-①	演習			3	4	前期	2		ソーシャルデザイン・ファッション授業 (社会実装)	地域アイデンティティを持つローカル・ブランドとの連携によるファッション・ブランド制作。SOUSOUとの協働を続け、伝統産業を残すには多大な努力と魅力的なデザインが必要なることを学び、社会に発信する。	ローカルブランドデザインを習得し、コラボレーションによる制作・運営を実践できる総合的なクリエイション力の習得。	0	0	20	40	30	60	30	60	0	20	40		
	空間演出デザインⅠ-②	演習			3	4	前期	2		ディスプレイ授業 (社会実装)	企業や自治体のソーシャルメッセージをディスプレイ=空間型コミュニケーションデザインとして制作。消費刺激に偏らない、ソーシャルデザインの枠組みを活かした授業とする。	ディスプレイデザインを習得し、コラボレーションによる制作・運営を実践できる総合的なクリエイション力の習得。	0	0	20	40	30	60	30	60	0	20	40		
	空間演出デザインⅠ-③	演習			3	4	前期	2		コラボレーションと社会発信	課題解決型デザインをテーマにした学生の作品によるコンペティション。 学科展による社会発信を行う。	課題解決型デザインの思考を理解し、そのためのコンペティション・展覧会が企画・実践できる総合的なクリエイション力の習得。	0	0	20	40	30	60	30	60	0	20	40		

	科目名	授業 種別	履修学年・学期				単位		テーマ	授業概要	到達目標	探究力	思考力	発想・構想力	表現力	行動力	継続力	コミュニケーション力
							必修	選択										
領域横断	空間デザイン研究Ⅰ	演習			4	前期		2	卒業制作・ソーシャル課題探究1	卒業制作のテーマ発見につながる課題を探索する。フィールドワークや事例研究など課題を意義づける。	研究すべき課題を発見し、それに対する問題のありかを特定し、何をすれば解決と言えるのかを提案できる。	30 ₆₀	0 ₀	0 ₀	20 ₄₀	30 ₆₀	0 ₀	20 ₄₀
	空間デザイン研究Ⅱ	演習			4	後期		2	卒業制作・解決の形式探究1	発見した課題を深め、解決へと導く形式の探索を行う。実験から制作へとより独自性の高いものをデザインする。	課題に対する解決の形式は多数ありえる中で、より社会的創造性の高い解決の形式をデザイン・実践することができる。	0 ₀	0 ₀	20 ₄₀	30 ₆₀	30 ₆₀	0 ₀	20 ₄₀
	空間デザイン研究Ⅲ	演習			4	前期		2	卒業制作・ソーシャル課題探究2	卒業制作のテーマ発見につながる課題を探索する。フィールドワークや事例研究など課題を意義づける。	研究すべき課題を発見し、それに対する問題のありかを特定し、何をすれば解決と言えるのかを提案できる。	30 ₆₀	0 ₀	0 ₀	20 ₄₀	30 ₆₀	0 ₀	20 ₄₀
	空間デザイン研究Ⅳ	演習			4	後期		2	卒業制作・解決の形式研究2	発見した課題を深め、解決へと導く形式の探索を行う。実験から制作へとより独自性の高いものをデザインする。	課題に対する解決の形式は多数ありえる中で、より社会的創造性の高い解決の形式をデザイン・実践することができる。	0 ₀	0 ₀	20 ₄₀	30 ₆₀	30 ₆₀	0 ₀	20 ₄₀
	空間演出卒業研究	演習			4	前期集中		2	卒業制作・統合1	卒業制作として、独自の課題発見と解決を社会的創造性の高いデザインとして追及し、プレゼンテーションする。	課題発見とその解決を提案としてデザインし、プレゼンテーションすることができる。	30 ₆₀	0 ₀	0 ₀	20 ₄₀	0 ₀	30 ₆₀	20 ₄₀
	空間演出デザイン研究	講義			4	夏期集中		2	フィールドワーク	フィールドワークを通して体験するまちづくり	フィールドワークを通して物事を観察し、その考察ができるようになる。	0 ₀	30 ₆₀	20 ₄₀	0 ₀	30 ₆₀	0 ₀	20 ₄₀
	空間演出研究	講義			4	後期	2		卒業制作展	卒業制作展の会場構成・空間・広報を企画・制作。作品を社会に問う場をつくる。	卒業制作展の企画・制作を行い、卒業制作の意義を社会に問う場をつくることができる。	0 ₀	0 ₀	20 ₄₀	20 ₄₀	30 ₆₀	0 ₀	30 ₆₀
	卒業研究・制作	演習			4	後期集中	4		卒業制作・統合2	卒業制作として、独自の課題発見と解決を社会的創造性の高いデザインとして完成させ、社会にその意義を問う。	卒業制作として独自の課題発見とその解決を社会的創造性の高いデザイン・実践することができる。展示して社会ににその意義を問うことができる。	0 ₀	30 ₁₂₀	20 ₈₀	20 ₈₀	30 ₁₂₀	0 ₀	0 ₀
ロジック	空間演出デザイン概論Ⅰ	講義	1	2	3	4	前期	2	学科概論・空間デザイン概論	前半では初年次教育の導講義として、学科概論を実施。専任教員の専門を知ることを通じて、空間演出デザインという領域の輪郭を理解する。後半は空間コースの領域を知る、空間デザイン概論とし、空間デザインの歴史とその概要を学ぶ講義とする。	空間デザインの歴史と概要を理解し、自らの考えに展開することができる。	30 ₆₀	30 ₆₀	0 ₀	0 ₀	0 ₀	30 ₆₀	10 ₂₀
	空間演出デザイン概論Ⅱ	講義	1	2	3	4	後期	2	ファッションデザイン・ジュエリーデザイン概論	ファッションデザイン・ジュエリーデザインの歴史を通じ、現代のファッションがいかに形成されてきたのか、というその基本的な考え方を理解する講義とする。（ファッションコースを知る）	ファッションデザインにおける根本問題を哲学的、社会学的、デザイン史的に学び、自らの考えに展開することができる。	30 ₆₀	30 ₆₀	0 ₀	0 ₀	0 ₀	30 ₆₀	10 ₂₀
	空間演出デザイン概論Ⅲ	講義		2	3	4	後期	2	デザイン史・デザイン論	芸術や建築も背景にしながら、デザイン全般の通史を講義する。通史を概観しつつ、デザインの根本的な問題を捉えるために、空間論・デザイン論などを学ぶ講義。	専門的なデザイン史を学び、空間、ファッション、ジュエリーの歴史的展開を理解して、自分の考えを論じられるようになる。	30 ₆₀	30 ₆₀	0 ₀	0 ₀	0 ₀	30 ₆₀	10 ₂₀
	空間演出デザイン論Ⅰ	講義			3	4	前期	2	ソーシャルデザイン論	本学科の学修の目的となるソーシャルデザインを理論として学ぶ。ソーシャルデザイン総論・空間的アプローチとしてローカル・サステイナブル・ファッション的アプローチとしてエシカルなどを講義。	ソーシャルデザインの現状・理論を理解し、自らの考えを論じられるようになる。	30 ₆₀	30 ₆₀	0 ₀	0 ₀	0 ₀	30 ₆₀	10 ₂₀
	空間演出デザイン論Ⅱ	講義			3	4	後期	2	現代デザイン論	空間・ファッションに限定せず、複雑化した現代のデザインを、社会や近接領域であるアートなどの影響も踏まえて理解するために、理論と実例を講義する。デザインにおける未来構想の分野であるスベキュラティブデザインも概観する。	現代デザインにおける社会の課題を理解し、自らの考えを論じられるようになる。	30 ₆₀	30 ₆₀	0 ₀	0 ₀	0 ₀	30 ₆₀	10 ₂₀
キャリア	ラーニングレラシー	演習	1	2	3	4	前期	2	大学での学びを学ぶ	何を学べば学んだと言えるのかを、コミュニケーションワークやディスカッションをしながら考えていく導入科目。	学科の仲間や教員とコミュニケーションをとることができ、学科での学び方を理解し、自らの考えで語り、積極的に活動することができるようになる。	0 ₀	20 ₄₀	0 ₀	0 ₀	30 ₆₀	20 ₄₀	30 ₆₀
	キャリア研究Ⅰ	講義	1	2	3	4	後期	2	初年次キャリア（ロールモデル研究）	大学卒業後、職業的自立をはたしていくために、まずは社会を知る、働くということを意識する、そして目標に向けて、自らを変えていく一歩とする、これらを目的とした授業とする。社会で働くリアリティを意識しながら、大学での学びを充実させられるようにする。	社会で働くということをお意識する。社会へと続く学びであることを理解し、自覚を持つことができる。	30 ₆₀	20 ₄₀	0 ₀	0 ₀	0 ₀	30 ₆₀	20 ₄₀
	キャリア研究Ⅱ	講義		2	3	4	前期	2	2年次キャリア（プロフェッショナル研究）	初年次は一般的な理解であったが、2年次は専門にフォーカスしながら、仕事や働くことを理解できるようにする。デザインだけでなく、専門を広く捉えて、各種の仕事を理解し、自らインタビューも行って、進路への意識を高められるようにする。	専門にフォーカスし仕事や働くことを理解しながら、自らの進路について考えることができる。社会時事や企画など汎用性のあるキャリア問題に取り組み答えることができる。	20 ₄₀	20 ₄₀	0 ₀	0 ₀	30 ₆₀	0 ₀	30 ₆₀
	キャリア研究Ⅲ	講義			3	4	前期	2	3年次キャリア（進路へのフォーカス）	4年生6月に内定を獲得する、という目標のもと、3年生でインターンへ行くことを具体的活動の軸として、進路研究、企業研究、自己分析、ポートフォリオ作成などを行う。一般常識試験のための問題集にも取り組み、受験のための準備をする。	進路の方針を決め、インターンにエントリーできる。企業研究やポートフォリオを実践的に制作することができる。	30 ₆₀	0 ₀	0 ₀	0 ₀	30 ₆₀	20 ₄₀	20 ₄₀
	（キャリア研究Ⅳ）				3		後期		3年次後期キャリア（進路決定と活動準備）	コマ数総量の関係もあって、単独の授業としてではなく、3年生コース専門授業の後期後半部分に設置する。キャリア研究Ⅳと明記して実施。進路決定・エントリーシートの作成・ポートフォリオの作品増設・実技演習など。12月から準備を整え、2月から実践。	進路を決め、1月から就職活動（準備含む）することができる。エントリーシート作成、受験用ポートフォリオ、採用前インターン実習など実戦的に活動できる。	0 ₀	0 ₀	0 ₀	0 ₀	0 ₀	0 ₀	0 ₀
	（インターン実習）				3	4	前期		学科特殊演習	企業の採用形態が、インターンを前提に入材を選別する方向に移行し始めている。目標の企業にインターンに行くことが重要であるが、他企業であったとしても、インターン受験に受かることあるいは、参加して評価を得たことはどの企業においても実績となる。全員参加。	インターン実習に実際に参加し、社会人基礎力を向上させながら、企業の仕事体験や他大学学生とのディスカッションなどに積極的に取り組めるようになる。	0 ₀	0 ₀	0 ₀	0 ₀	0 ₀	0 ₀	0 ₀

合計	22	72
----	----	----

ポイント計	1200	1520	1280	1480	1440	1120	1360
比率	12.8%	16.2%	13.6%	15.7%	15.3%	11.9%	14.5%